

令和7年7月14日

受験者の皆様
関係各位

豊橋技術科学大学長
若原 昭 浩

令和8年度第3年次入学者選抜における出題ミスについて（お詫び）

令和7年6月28日（土）に実施しました令和8年度第3年次入学者選抜において、出題ミスが判明いたしました。ミスの内容及び対応等については、下記のとおりです。

受験者の皆様、ご家族をはじめ関係者の皆様に多大なるご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。この事態を真摯に受け止め、今後、このようなことがないように、再発防止に努めてまいります。

記

1. 対象入試の概要

- （1）対象入試区分：令和8年度第3年次入学者選抜
- （2）試験実施日：令和7年6月28日（土）
- （3）合格発表日：令和7年7月18日（金）
- （4）出題ミスのあった科目：一般科目（国語）
- （5）対象受験者数：335名

2. 出題ミスの内容

設問〔1〕問1 傍線部㊦ のカタカナ部分を漢字にした際、その単語に含まれる漢字と同じ漢字を含んでいる単語をア～オの中から一つ選べ。

傍線部のカタカナ部分：㊦ スミズミ

ア 隈取り イ 墨汁 ウ 経済 エ 住民 オ 辺境

「スミズミ」の漢字は「隅々」であるため、上記選択肢の中に解答は無い設問となった。
（次頁参照）

3. 経緯

令和7年7月9日に指摘のメールがあり、事実確認を行ったところ、ミスであることが確認された。

4. 対応

当該問題については、全員正解として扱う。

以上

本件に関する連絡先
豊橋技術科学大学入試室
電話：0532-44-6580
E-mail:nyushi[at]office.tut.ac.jp
*[at]を@に置換してください。

令和8年度 豊橋技術科学大学第三次入学者選抜学力検査問題

一般科目（国語）

注意事項

- 一 試験開始の合図まで、この問題冊子と解答用紙を開いてはいけません。
 - 二 問題冊子の枚数は、表紙、草稿用紙を含めて十九枚です。解答用紙は七枚あります。
 - 三 問題冊子はページを切り離して使用しても構いませんが、解答用紙は切り離してはいけません。
 - 四 問題は大問が三問あります。全問解答してください。
 - 五 試験開始の合図の後すぐに、すべての解答用紙の所定の箇所を受験番号を記入してください。
 - 六 解答は必ず解答用紙の所定の欄に記入してください。所定の欄以外に記入した解答は無効です。
 - 七 解答は楷書で正確に書いてください。判読に迷うものは不正解となる場合があります。また、選択肢の解答に際して、カタカナをひらがなに変更するなど、次のような改変は不正解となります。
- (例) ア ↓ あ A ↓ a
- 八 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあれば、ただちに申し出てください。
 - 九 問題冊子の余白は、草稿用として使用しても構いません。
 - 十 試験終了時刻まで退出してはいけません。
 - 十一 問題冊子は持ち帰ってください。

【一】 次の歴史学研究についての文章を読み、質問に答えよ。なお、原文から一部省略した箇所がある。

実証史学とは

① 私たちは歴史を、不変かつ静的な観察対象であるかのように考えがちである。過ぎ去った過去はもはや変更不可能であり、「事実」として存在しているような気がしている。歴史の本には、多くの場合は起こったことが年代順に示されていて、誰もこれに本質的な変更が加えられることを想定してはいない。

② コウブツを顕微鏡で観察するように、歴史も科学的にアプローチできる——そう考え、なによりも客観性と実証性を重視する近代歴史学の礎を築いたのが、ドイツの歴史家レオポルト・フォン・ランケ（一七九五―一八八六）であった。

ランケは、主観を排して「それが実際にいかにあったか」(wie es eigentlich gewesen)を記すことで、歴史の姿が明らかになると考えた。歴史家の仕事は、1 事実を明らかにすることだった。A

実証的な歴史学者であれば、この問いには次のように答えるだろう。まず、利用可能なすべての史料を集める(歴史学では「資料」ではなく「史料」と書く)。史料の書き手が誰か調べ、同時代の他の史料と突き合わせて照合し、矛盾するものを選び分け、のちの時代の書き加えを排除し、批判的な検証を重ねる。B

この手続きをきちんと踏めば、過去を正確に再現できるはずだ——これが実証主義歴史学(実証史学)の基本的な考え方である。客観性と実証性がきわめて重要であるので、歴史学の書物には基本的に「わたし」という一人称は登場しない。また歴史は史料により証明されねばならないので、参照元として多くの注が付けられる。

しかし②ランケがいくら「実際にそうであったように」書くとしても、現実には書かれた歴史は起こったことと同じではない。私たちは、起こったことを鳥瞰的に、③ スミズミまで見渡せているわけではない。関連する史料をすべて集めることなど、不可能なことは言うまでもない。客観性が重要といっても、何をもつて客観的だとするのか。客観的に書かれているように見える文章でも、結局は特定の読み手を想定して、書き手の頭のなかにあったものが言語化されたに過ぎず、むしろそこに書かれていないものの方が、歴史について多くを語っていないだろうか。

問一

傍線部①～⑤のカタカナ部分を漢字にした際、その単語に含まれる漢字と同じ漢字を含んでいる単語をア～オの中から一つずつ選べ。

①コウブツ

ア 坑道 イ 鉦山 ウ 興行 エ 渡仏 オ 好評

②スミズミ

ア 隈取り イ 墨汁 ウ 経済 エ 住民 オ 辺境

③ハックツ

ア 屈辱 イ 洞窟 ウ 踏破 エ 石塀 オ 掘削

④イライ

ア 偉勲 イ 衣服 ウ 信頼 エ 意匠 オ 到来

⑤エイキョウ

ア 陰影 イ 饗宴 ウ 境界 エ 英断 オ 表彰

問二

1 5 に当てはまるものとして最もふさわしいものを一つ選び、

記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上選んではならない。

ア さまざま イ もともと ウ きわめて

エ もっぱら オ 人によって

問三

あ お に当てはまるものとして最もふさわしいものを一つ選び、

記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上選んではならない。

ア ところが イ つまり ウ それでも

エ このため オ そもそも